

稲作はじめ多くの耕種部門で増収増益 肉用牛は原発事故影響から回復

— 日本公庫・平成24年農業経営動向分析結果 —

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業では、平成24年のご融資先の農業者（対象8,174先）の決算データを基に、経営部門ごとにその動向を分析しました。

<分析結果のポイント>

○ 耕種部門では稲作をはじめ、多くの業種で増収増益

稲作は24年産米の作柄が良好だったことや、米価が上昇したことにより、増収増益となった。また、果樹はみかんが裏年で価格が上昇したことなどから増収増益となり、北海道畑作や施設花き、茶、きのこについても増収増益となった。

一方、北海道の露地野菜（個人経営）は、たまねぎやばれいしょの価格が軟調に推移したことにより、減収減益となった。

○ 畜産部門では肉用牛は増収増益、都府県の酪農、採卵鶏が減益

肉用牛は震災による消費の減退等により急落した前年に比べ、価格が回復したことから、増収増益となった。

一方、酪農は乳価が前年並みの中で売上は横ばいであったが、配合飼料価格の高騰を受けて都府県では減益となった。また、採卵鶏は卵価が軟調に推移したことや配合飼料価格の高騰が影響し、大幅減益となった。

分析対象先：農業を営む日本公庫のご融資先のうち8,174先（個人7,297先、法人877先）
対象経営部門（農業収入の第1位部門で区分）

- ① 耕種8部門：稲作、北海道畑作、果樹、露地野菜、施設野菜、施設花き、茶、きのこ
- ② 畜産5部門：酪農、肉用牛肥育、養豚一貫、採卵鶏、ブロイラー

対象決算期：平成22～24年までの3ヵ年を経年比較

法人は各年12月～翌年3月が決算期のもの

平成24年農業経営動向分析(概要)

経営部門			個人経営			法人経営			概要
			サンプル数	売上高	農家所得 (専従者給与控除前)	サンプル数	売上高	経常利益	
耕種	稲作	北海道	1,116	→	→	340	↑	↑	米の作柄が良好だったことに加え、米価も新米への切り替わり時期に前年産米の在庫水準が低かったことや震災の影響を懸念した集荷競争があったことから上昇し、個人、法人とも増収増益となった。
		都府県	1,365	↑	↑				
	北海道畑作		190	↑	↑	16	↑	↑↑	
	果樹		303	↑	↑	18	↑	↑↑	
	露地野菜	北海道	164	↓	↓↓	27	→	↓	
		都府県	312	↑	↑				
	施設野菜		577	↑	↑	32	↑	↓↓	
	施設花き		263	↑	↑	20	→	↑↑	
	茶		184	↑	↑↑	29	↑	↑	
きのこ		24	→	↑	17	→	↑		
畜産	酪農	北海道	1,261	→	↑	58	→	↑	総合乳価はほぼ前年並みで推移した一方、配合飼料価格が高騰し、都府県で減益となった。
		都府県	816	→	→	74	→	↓	
	肉用牛肥育		483	↑	↑↑	60	↑	↑↑	
	養豚一貫		167	→	↓↓	114	→	→	
	採卵鶏		41	↓	↓↓	54	→	↓↓	
	ブロイラー		31	→	→	18	↑	↓↓	

注) 農家所得(専従者給与控除前)及び経常利益は減価償却前の金額

・前年比(売上高、利益+償却費) ↑↑ : 20%以上増 ↑ : 5~20%増 → : ±5%増減 ↓ : 5~20%減 ↓↓ : 20%以上減

個人経営における平成24年収支状況

個人経営												
経営部門		サンプル数	経営規模			売上高(百万円)			農家所得(専従者給与控除前)(百万円)			
			単位	23年	24年	23年	24年	増減率	23年	24年	増減率	
				A	B	A	B	$((B/A)-1)*100$	A	B	$((B/A)-1)*100$	
耕種	稲作	北海道	1,116	水稲作付面積(ha)	13.3	13.4	27.1	28.1	3.5%	12.6	12.7	1.3%
		都府県	1,365		11.1	11.7	23.4	25.4	8.5%	10.3	11.2	8.0%
	北海道畑作		190	経営耕地面積(ha)	38.0	38.1	37.5	39.8	6.3%	11.4	12.6	11.1%
	果樹		303	第1位品目作付面積(ha)	2.4	2.5	14.8	15.8	7.2%	6.2	6.9	11.9%
	露地野菜	北海道	164		8.2	8.2	39.8	35.7	▲10.3%	15.9	12.5	▲21.7%
	施設野菜	都府県	312	4.4	4.6	30.6	33.0	8.0%	11.0	12.4	12.3%	
	施設花き		577	第1位品目栽培面積(千㎡)	5.6	5.6	28.0	30.8	9.9%	10.0	11.5	14.8%
	茶		263	5.3	5.2	31.8	33.6	5.6%	9.3	10.4	11.1%	
	きのこ		184	茶園面積(ha)	5.3	5.5	23.9	26.8	12.1%	7.2	9.0	24.1%
畜産	酪農	北海道	1,261	成牛頭数(頭)	94.4	90.2	69.3	72.6	4.8%	15.7	17.1	9.2%
		都府県	816		61.8	62.4	62.0	64.4	3.9%	15.7	15.4	▲1.9%
	肉用牛肥育		483	飼養頭数(頭)	226.0	227.9	101.0	114.9	13.7%	10.4	17.6	69.2%
	養豚一貫		167	繁殖雌豚頭数(頭)	139.3	141.3	92.8	90.5	▲2.4%	13.9	10.6	▲24.2%
	採卵鶏		41	飼養羽数(千羽)	31.8	31.7	100.8	90.6	▲10.1%	10.9	3.3	▲69.8%
	ブロイラー		31		55.8	54.7	124.9	120.4	▲3.6%	10.8	10.5	▲2.6%

法人経営における平成24年収支状況

法人経営												
経営部門		サンプル数	経営規模			売上高(百万円)			経常利益(百万円)			
			単位	23年	24年	23年	24年	増減率	23年	24年	増減率	
				A	B	A	B	$((B/A)-1)*100$	A	B	$((B/A)-1)*100$	
耕種	稲作		340	水稲作付面積(ha)	26.2	28.1	53.0	57.4	8.3%	13.5	14.4	7.2%
	北海道畑作		16	経営耕地面積(ha)	70.7	72.7	64.9	71.0	9.3%	7.3	13.2	80.1%
	果樹		18	第1位品目作付面積(ha)	10.0	10.2	43.4	47.8	10.1%	2.8	7.6	172.3%
	露地野菜		27		14.2	14.6	139.3	143.2	2.8%	14.6	13.0	▲11.2%
	施設野菜		32	第1位品目栽培面積(千㎡)	10.0	10.1	72.6	77.7	7.0%	12.0	7.9	▲34.1%
	施設花き		20	8.1	8.3	75.5	76.8	1.8%	2.3	4.9	114.5%	
	茶		29	茶園面積(ha)	22.1	22.1	114.0	122.7	7.6%	13.3	14.5	9.1%
	きのこ		17	第1位品目収穫量(t)	305.8	367.5	233.1	241.2	3.5%	28.3	31.5	11.3%
	畜産	酪農	北海道	58	成牛頭数(頭)	323.3	333.4	245.0	257.1	4.9%	44.7	48.4
都府県			74	147.5		150.1	147.4	152.1	3.2%	26.7	25.1	▲5.7%
肉用牛肥育		60	飼養頭数(頭)	1,214.7	1,256.9	480.7	530.8	10.4%	40.6	65.9	62.3%	
養豚一貫		114	繁殖雌豚頭数(頭)	474.4	476.4	358.7	366.9	2.3%	28.2	28.2	▲0.2%	
採卵鶏		54	飼養羽数(千羽)	224.4	228.5	718.9	718.1	▲0.1%	59.5	41.6	▲30.0%	
ブロイラー		18		174.2	170.5	388.8	426.3	9.6%	7.1	5.7	▲20.3%	

注1) 農家所得(専従者給与控除前)及び経常利益は減価償却前の金額

注2) 増減率はラウンドの関係で数値が合わない場合がある